

大活躍

専大生

第27回ユニバーシアード競技大会

鈴木が2冠に輝く

女子団体と混合ダブルス

卓球

卓球競技で鈴木李茄



(商1・青森山田高)し、二つの金メダルを手が、女子団体、混合ダブルスとともに優勝を果たし、女子団体は第1ステージを危なげなくトップで通過し、第2ステージに進出。第2ステージに入っても勢いは止まらず、1回戦、準々決勝と鈴木

の活躍もありストレートで勝ち進む。続く準決勝はロシアに3-2で勝利。決勝のチャイニーズタイペイ戦では2番手を任された鈴木が逆転で1勝をあげるなど、3-0の圧倒的な強さで世界の頂点に立った。

混合ダブルスでは笠原弘光選手(協和発酵キリン)とペアを組み挑戦した。湯澤時生・人間科学2

だ。鈴木・笠原ペアは準々決勝、準決勝を4-3、4-2と接戦をものにし、決勝へと駒を進めた。迎えた決勝の相手は同じ日本代表の丹羽孝希(明大)・美里(淑徳大)の姉弟ペア。序盤で3セットを奪われ、苦しい展開だったが、「気持ちで負けないように戦った」と語るように、怒った。3で大会2冠を達成した。

チームとしての活動期間が短かった。結果には満足していない」とコメント。

ペアを組んだ笠原選手と喜ぶ鈴木(右)

チーム最年少で堂々たる結果を残した鈴木は「混合ダブルスは準々決勝で強豪相手に接戦をものにできたことで自信が付き、結果につながった。勝負どころで一本を決められたことが大きかった」と振り返った。

6月27日から6月30日まで、東京都のJRA馬事公苑で関東学生三大大会が行われた。専大は団体で関東学生賞典障害飛越競技(障害飛越)と関

東学生賞典総合馬術競技(総合馬術)で優勝。関東学生賞典馬術馬術競技(馬場馬術)を合わせた3種目総合で準優勝となった。

個人でも見目瑛(経営2・宇都宮白楊高)が障害飛越で2位、総合馬術は(遠藤史崇・文2)



左から北爪、仲川、長澤、下田。後列は李准教授

長澤、下田、北爪、仲川が出場

惜しくも銅メダル

サッカー

サッカー競技は連覇こそ逃したが、3位となり銅メダルを獲得した。

専大からはMF長澤和輝(経営4・八千代高)、MF下田北斗(人間科学4・清水水高)、DF北爪健吾(法3・前橋育英高)、FW仲川輝人(商3・日体荏原高)が出場。李宇漢法学部准教授がコーチを務めた。

日本代表は予選リーグ3試合を危なげなく勝ち上がり、決勝トーナメントへ駒を進めた。

準々決勝のマレーシア戦は長澤、仲川が得点を挙げるなど4-0で勝利。しかし準決勝のフランス戦は1-1のままPK戦にもつれこみ、惜敗した。メダルをかけて臨んだ3位決定戦の相手は開催国のロシア。完全アウェーでの試合となった

が、3-0と快勝し見事、銅メダルを獲得した。

他競技でも健闘

バドミントン競技では平井亜紀(商4・高松商高)が女子国別対抗6位、女子ダブルスでベスト8。

フェンシング競技では川村理紗(商2・揖斐高)がフルール団体で7位と

なった(個人は25位)。バスケットボール競技は男子18位、女子13位となり、宇都直輝(経営2・中部大第一高)と加藤夕貴(文4・明星学園高)の両選手が活躍を見せた。(村上天晃・文3)

トを連取されたが、そこから巻き返し、フルセットの末、逆転勝ちを収めた。決勝は1次リーグで敗れたチャイニーズタイペイとのリベンジマッチ。日本は1セットを奪うも力及ばず、セットカウント1-3で敗れた。

8月からの世界ジュニア選手権に向けて「上の世代の男子ユニバーシアード代表が銅メダルを獲得しているの、それに負けないように頑張りたい」と語った。

馬術・関東学生三大大会
障害飛越 団体2種目で優勝
総合馬術



世界ジュニア選手権でも期待がかかる藤中

東アジア地区バレーボール男子選手権が6月30日から7月4日まで台湾の台北市で行われ、日本代表は準優勝となった。専大からはミドルブロッカーの高橋拓也(経営2・東亜学園高)とウイングスパイカーの藤中謙也(経営2・宇部商高)が日本代表として活躍を見せた。

バドミントン・関東学生選手権 インカレ出場決める



▲ 安定したプレーをみせた浦谷(左)、篠田

6月3日対戦。浦谷が「立ち向かっていく気持ちで臨んだ」と話すように、序盤から積極的に仕掛けていく。しかし、長いラリーが続いた末に点数を取られる惜しい展開が続き、15-21、18-21で準優勝に終わった。

浦谷は「勝ちにこだわって練習していきたい」とコメント。篠田は「強い相手はたくさんいる。どんな攻撃もかわすことができるように練習する」とインカレに向けて、意気込みを新たに話した。

またシングルスも福永彩(文2・昭和学園高)がベスト4となり、3人は10月に行われる全日本学生選手権(インカレ)の出場権を手にした。ダブルス準決勝に進んだ浦谷・篠田ペアは第1ゲームの序盤で相手にリードを許すも後半の9連続得点で勢いをつけ、2ゲーム連取で決勝へと駒を進めた。決勝では関東学生リーグ戦で敗れた今野・樋口ペア(法大)と

真も)

専大スポーツ

No.329

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています